

■事業用自動車総合安全プラン2009

区分	平成20年 実績	平成25年 目標	平成30年 目標
交通事故死者数	513人	380人以下	250人以下
人身事故件数	56,295件	43,000件以下	30,000件以下

全
ト
協

■トラック事業における総合安全プラン2009

区分	平成20年 実績	平成25年 目標	平成30年 目標
交通事故死者数	450人	330人以下	220人以下
人身事故件数	28,838件	22,000件以下	15,000件以下
飲酒運転・ 危険ドラッグ	飲酒運転・危険ドラッグ等薬物使用による運行の 絶無		

目
標

国
交
省

当面の重点削減目標と具体的促進策

★死亡事故件数に係る新たな数値目標(重点削減目標)の設定

- 事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を**車両台数1万台当たり「2.0」件以下**とし、各都道府県(車籍別)の共有目標とする。

★重点削減目標に向けた具体的促進策

- 事業用トラック重点事故対策マニュアルの策定(横断歩道事故編・交差点事故編)
- 事故防止対策セミナーの開催・受講の促進
- ドラレコ及びデジタコ等安全管理機器のより積極的な導入の促進

中間目標の達成状況を踏まえた今後の取り組み計画

1. ASV(先進安全自動車)関連機器及び運行管理・支援機器の普及拡大

- 衝突被害軽減ブレーキ等のASV関連機器、運行記録計、ドライブレコーダなど運行管理・支援機器の普及拡大を促進する。
- 運行管理・支援機器の有効活用を図るため、「ドライブレコーダ導入の手引き」、「ドライブレコーダ活用マニュアル」、「Web版ヒヤリハット集」及び「事業用トラック重点事故対策マニュアル」を制作し、ホームページ上に公開するとともに、普及促進を図る。

2. トラック運転者教育の充実等

- 新規採用運転者等への「教育実習カリキュラム」を作成するとともに、実施体制の整備、実施補助等を行う。
- 「トラック追突事故防止マニュアル活用セミナー」、「ドライブレコーダ活用セミナー」及び「横断歩道事故を含む交差点事故防止マニュアル活用セミナー」を全国各地で開催し、事故防止の意識高揚を図る。
- 安全運転研修に対し助成を実施し、受講促進を図る。
- Gマーク制度(貨物自動車運送事業安全性評価制度)の普及促進を図る。
- 運転技術、安全意識向上のため、トラックドライバー・コンテストを実施する。
- 全日本トラック協会及び都道府県トラック協会の総会、事業者大会等における交通安全セミナー及び交通安全決議の実施により、交通安全に対する事業者の意識向上の定着を図る。

3. 事故分析及び有効な事故防止対策の検討・活用

- 事業用貨物自動車の事故実態を交通事故データベースから集計・分析し、それらの分析事例をもとに事故事例集を作成し、事故防止活動に活用する。
- 重大事故に係る会員事業者情報を収集し、車籍別、発生地域別、車両区分別、道路区分別等詳細に分析するなど、事故分析手法の見直しを図るとともに、迅速かつ効果的な検証を行い、新たな対策の樹立につなげる。

4. 広報・啓発活動等

- 「正しい運転・明るい輸送運動」、「不正改造車を排除する運動」の実施、国の交通安全運動等への参加など、会員事業者への広報・啓発活動を積極的に展開する。
- 事業用トラックによる死亡事故の発生地域別データベースを構築し、事故防止啓発ツールとして活用を図る。